

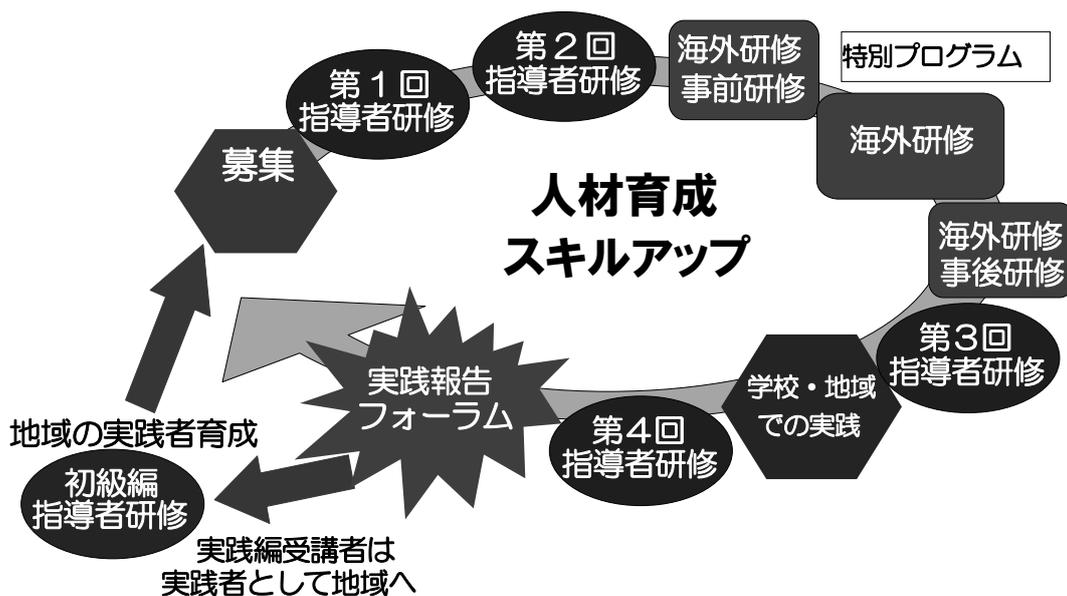
I 開発教育指導者研修の概要

■ 開発教育指導者研修の目的

独立行政法人国際協力機構（以下、「JICA」）は、開発途上国の現状や日本との関係に関する「知見の還元」および自分に何が出来るかを「考える機会の提供」、地域における「橋渡し役」に重点を置いた開発教育支援を実施している。JICAの国内機関である中部国際センター（以下、「JICA 中部」）は、中部地域（愛知・岐阜・三重・静岡）における開発教育支援として、①JICAが直接受け手に対して指導等行うもの（国際協力出前講座、JICA 施設訪問プログラム等）と、②開発教育に取り組む担い手を育成するもの（教師海外研修、開発教育指導者研修）を実施している。特に、指導者育成の事業においては、①初めて開発教育に取り組む人材を対象とした開発教育指導者研修（初級編）と、②より中核的な指導者となることが期待される人材を対象とした開発教育指導者研修（実践編）、教師海外研修プログラムを実施し、それぞれの事業を有機的に結びつけることにより相乗効果の拡大を図っている。

このうち、開発教育指導者研修（実践編）および同研修の特別プログラムである教師海外研修は、中部地域における開発教育の中核的な指導者を育成すること、かつ指導者間の連携強化およびネットワーク形成を行うことを目的として、①開発教育の理論や具体的な教材事例、参加型学習の理論および実践方法（ファシリテーション）等の指導法の体系的な学習、あるいは②実際の開発途上国への訪問による開発途上国の実情および日本の国際協力の状況に対する理解の促進および教育材料の収集等のための研修を実施している。

また、研修受講者は、学校・地域等における教育現場において自主的に開発教育を展開する他、JICAの開発教育指導者研修（初級編）において指導を行うなど、地域の開発教育の中核的存在となることが期待されている。



開発教育指導者研修・教師海外研修プログラムの「学びの好循環」

■ 「実践編」の概要

- (1) 日時 第1回 平成25年6月15日(土) 13:00~17:00 -16日(日) 10:00~15:00
 第2回 平成25年7月20日(土) 13:00~17:00 -21日(日) 10:00~15:00
 第3回 平成25年8月24日(土) 13:00~17:00 -25日(日) 10:00~17:00
 第4回 平成26年2月 8日(土) 10:00~18:00
 実践報告フォーラム 平成26年2月 9日(日) 10:00~16:30
- (2) 場所 JICA 中部 なごや地球ひろばセミナールーム
- (3) 対象 小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員、教育委員会、自治体関係者、NPO/NGO、JICA ボランティア OB/OG など
- (4) 企画・運営(委託) (特活) NIED・国際理解教育センター
- (5) 後援 愛知県教育委員会、岐阜県教育委員会、三重県教育委員会、静岡県教育委員会、名古屋市教育委員会、静岡市教育委員会、浜松市教育委員会
- (6) 参加者数 41名(うち20名は教師海外研修参加者)、他JICAスタッフ等も参加
 実践報告フォーラム:148名(一般参加者+研修受講者)
- (7) 参加費 無料
- (8) 講師 (特活) NIED・国際理解教育センター代表 伊沢令子
- (9) 内容 テーマ、ねらい、プログラムは、次のとおりである。

テーマ「持続可能な未来へ…人権・環境・貧困・開発・共生・平和」

- 開発教育・国際理解教育の目的および必要性和ESDを始めとする他教育との関連性を理解する。
 - 行動変容を支え関係性を育む「参加型」と、参加型で学び合う場を提供するファシリテーターの役割を理解し、自ら習熟する。
 - 3回までに学んだことを基に、各自の現場で「開発教育/国際理解教育」プログラムを実践し、成果と課題を持ち寄り、改善を加え、よりよい質の教育(BQOE[※])につなぐ。
 - 1年間におよぶ本研修の成果を、仲間と共に一般の人々に向けて発表することを通して、次なる担い手を増やし、「学びの好循環」を作る。
- ※BQOE…Better Quality of Education

◆ 第1回：『開発教育・国際理解教育のめざすもの』

★ 当該教育の目的、内容、方法を体験的に理解する。

- ① 研修の全体像を理解し、各自の参加の目的をふりかえり、共に学び合う仲間同士知り合う。
- ② グローバル化した世界の現状と、当該教育の必要性を確認・共有する。
- ③ 当該教育が、価値観を育てる教育であること、行動変容を支える教育であること、そのための参加型の教育であることについての理解を深める。

◆ 第2回：『開発教育・国際理解教育にできること』

★ 当該教育の目的を確認し、この教育で扱う5つの柱について体験を通して理解する。

- ① 人や世界の多様性と同一性、自己—他者—社会—未来のつながりについての「学び方」を学ぶ。
- ② 持続可能な未来の実現にとって不可欠な「貧困の解決」と「持続可能な環境」の学び方を学ぶ。
- ③ 「よりよい未来作りに関わる力」を参加型を通して育てる具体的な方法を体験的に共有する。

◆ 第3回：『開発教育・国際理解教育のすすめかた』

★ 開発教育・国際理解教育の参加型プログラムの作り方について学び、多様な手法を習熟する。

- ① 参加型手法と参加型手法を活用したアクティビティについての理解を深める。
- ② アクティビティを活かした流れのあるプログラムを実際に作ってみる。
- ③ ファシリテーション実践を通して、よりよい参加型とファシリテーターのポイントを確認し持ち帰る。

◆ 第4回 & 実践報告フォーラム：『実践やその成果の共有とフォーラムに向けて』

- ① 第3回以降、研修での学びを基にした各自の実践を共有する。
- ② 1年間を通じた研修の成果を共にふりかえる。
- ③ 研修成果と実践を一般市民に向けて参加型で提供し、次へとつなぐ。

■ 「初級編 (愛知県)」の概要

- (1) 事業名 国際理解教育セミナーin なごや 2014
- (2) 日時 平成26年1月25日(土) 10:00~18:00
- (3) 場所 JICA 中部 なごや地球ひろば セミナールーム
- (4) 主催 国際理解教育セミナーin なごや 実行委員会
(構成団体：(公財) 愛知県国際交流協会、JICA 中部、(特活) 名古屋 NGO センター、
(公財) 名古屋国際センター、(特活) NIED・国際理解教育センター)
- (5) 参加者 106名
- (6) 参加費 小・中・高校生 500円、大学生以上一般 800円
- (7) 内容 テーマ、プログラムは以下のとおり (各時間選択制)

テーマ：ESD☆ワークショップまつり～すべての課題はヒトに通ず～

- ① 1限 コミュニケーションと幸せの関係 (企画：名古屋国際センター)
ことばとコミュニケーション (企画：JICA 中部)
障がい者と共に生きる社会をめざして (企画：NIED・国際理解教育センター)
貧困問題のしくみを探ろう (企画：NIED・国際理解教育センター)
人の幸せ=犬の幸せ?! 犬を通じて社会を見つめてみよう! (企画：名古屋 NGO センター)
- ② 2限 「水」～人間にとって必要なもの～ (企画：名古屋国際センター)
インターネット社会でよりよく生きる (企画：JICA 中部)
あなたの食卓は持続可能? (企画：NIED・国際理解教育センター)
多様性は豊かさ (企画：愛知県国際交流協会)
お悩み相談☆ファシリテーションのツボ! (企画：名古屋 NGO センター)
- ③ 3限 ESDった何? (企画：国際理解教育セミナー in なごや実行委員会)
ラオスから広がる、わたしの世界 (企画：JICA 中部)
多文化共生ってな〜なんだ!? (企画：名古屋 NGO センター)
- ④ 交流会 (自由参加) 参加者同士で交流

■ 「初級編 (岐阜県)」の概要

- (1) 事業名 開発教育指導者研修初級編 (岐阜県)
岐阜県総合教育センター「国際理解教育講座」
- (2) 日時 平成 25 年 8 月 23 日 (金) 9:30~16:00
- (3) 場所 岐阜県総合教育センター
- (4) 共催 岐阜県教育委員会
- (5) 参加者 19 名
- (6) 参加費 無料
- (7) 内容 テーマ、プログラムは以下のとおり

テーマ：「国際理解教育講座 ～実践に学び、実践に生かすために～」

- ① 講義Ⅰ 「青年海外協力隊経験 (ニカラグア派遣) を教育現場に生かす」
～JICA ボランティア体験談～
- ② 講義Ⅱ 「国際理解教育が生徒に与える影響」
～JICA 教師海外研修 (ガーナ) に参加して～
- ③ JICA よりお知らせ
- ④ 演習 国際理解教育ワークショップ
- ⑤ 研修まとめ

■ 「初級編 (三重県)」の概要

- (1) 事業名 「実践に学ぶ 国際理解教育研修会」～多文化共生の学校・地域づくり～
- (2) 日時 平成 25 年 8 月 27 日 (火) 13:30~16:30
- (3) 場所 三重県総合教育センター
- (4) 主催 三重県、三重県教育委員会、JICA 中部
(「平成 25 年度国際理解教育研修会」(三重県環境生活部多文化共生課)、
「三重県総合教育センター研修」(三重県教育委員会)との協働事業)
- (5) 参加者 45 名
- (6) 参加費 無料
- (7) 内容 テーマ、プログラムは以下のとおり

テーマ：「多様な文化を楽しもう～われら異文化調査隊～」

- ① ワークショップ
アイスブレイキング「われら自分調査隊出発」
ワークショップ1「共に生きるために」
アイスブレイキング「世界の挨拶ゲーム」
ワークショップ2「世界を知るために」
ラオスについて「ラオス～豊かさや貧しさのあいだ～」
- ② 交流会・質疑応答
三重県多文化共生課、JICA 三重県デスクからの事業案内

■ 「初級編（静岡県）」の概要

★ 初級編（静岡）

- (1) 事業名 ① アース（明日）カレッジネットワークリレー講座 ツナガル食卓
 ② アース（明日）カレッジネットワーク
 異文化理解・体験講座「世界を聞こう・見よう・食べよう 2013」
 ③ アース（明日）カレッジネットワーク（初級者編）
 国際理解研修会「学ぼう！世界の一員として」
- (2) 日時 ① 平成 25 年 6 月 30 日（日）10：00～16：00
 ② 平成 25 年 7 月 20 日（土）～11 月 16 日（土）6 回
 ③ 平成 26 年 1 月 19 日（日）10：00～12：30
- (3) 場所 ① 常葉学園大学 ② いずみの郷、ベルフォーレ長泉
 ③ 静岡県青年会館大ホール
- (4) 主催 ① JICA 中部、（公財）静岡県国際交流協会、常葉大学大学院国際言語文化研究科
 ② JICA 中部、（公財）静岡県国際交流協会、青年海外協力隊静岡県 OB 会
 ③ 一般社団法人ガールスカウト静岡県連盟
- (5) 参加者 ① 46 名 ② 22 名 ③ 71 名
- (6) 参加費 ① 1,000 円 ② 各回 500 円 ③ 無料
- (7) 内容 テーマ、プログラムは以下のとおり

- ① 講演「地域とつながり、未来へつなぐ」
 ワークショップ「地球の食卓／未来の食卓」
- ② 世界の学校に行ってみよう！
 お弁当の秘密
 世界の料理を作って食べてみよう
 ゴミ、環境問題
 世界のことばを書いて話してみよう
 民族衣装を着てみよう
- ③ 青年海外協力隊体験談
 貿易ゲーム

★ 初級編 (浜松)

- (1) 事業名 ① 価値観をゆさぶる 国際理解教育ワークショップ (全2回連続講座)
 ② 国際理解教育ファシリテーター養成リレー講座 (全4回連続講座)
- (2) 日時 ① 第1回;平成25年7月7日(日) 14:00~16:00
 第2回;平成25年7月14日(日) 10:00~16:00
 ② 第1回;平成25年8月25日(日) 13:00~17:00
 第2回;平成25年9月29日(日) 13:00~17:00
 第3回;平成25年10月20日(日) 13:00~17:00
 第4回;平成25年11月17日(日) 10:00~17:00
- (3) 場所 ①② クリエイト浜松 ((公財) 浜松国際交流協会)
- (4) 主催 ①② JICA 中部、(公財) 浜松国際交流協会、はままつ国際理解教育ネット
- (5) 参加者 ① 65名
 ② 第1回 28名、第2回 31名、第3回 24名、第4回 25名
- (7) 参加費 ① 各回 200円
 ② 各回 500円 (初回まとめて4回申込みの場合 1,500円) *学生、HICE 会員無料
- (8) 内容 テーマ、プログラムは以下のとおり

- ① 第1回;「いろいろな価値観に出会い、考え、行動する」
- ・ Development とは?
 - ・ グループワーク
 - ・ ファシリテーターの心得
- 第2回;「価値観のぶつかりあいの意義を人に伝える」
- ・ ところ変われば!?クイズ ・ 異文化体験あいさつゲーム
 - ・ 食べ物ケンミンSHOW ・ 異文化で暮らす悩み!?ロールプレイ
 - ・ 合意形成・対立解決って何だろう? ・ 共に生きる未来を築こう!
- ② 第1回;「国際理解教育ファシリテーターとは」
- ・ 「国際理解教育」と「参加型学習」
 - ・ ファシリテーターに誰でもなれる!?
- 第2回;「多文化共生をテーマに考えよう」
- ・ 自分自身の価値観にふりかえり、他者の多様性と価値観の違いを実感
 - ・ 多様なもの・こと。ひとと肯定的に出会う
- 第3回;「定番ワークショップを使いこなすコツ」
- ・ 「貿易ゲーム」をはじめとした既存のワークショップをマスターしよう
 - ・ ファシリテーターとしてのスキルUP
- 第4回;「ワークショップづくりと実践」
- ・ ワークショップのプログラムづくりのいろは
 - ・ プログラムをつくったら実践してみよう